

Umbrella SWGのWebポリシールールで保護されたファイルバイパスを有効にする

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrella SIGのWebポリシールールで保護されたファイルバイパスをイネーブルにする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Umbrellaセキュアインターネットゲートウェイ(SIG)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

今年の初め、Umbrella Webポリシーに、「保護されたファイルバイパス」の新しいWebポリシーグローバル設定が追加されました。

保護されたファイルとは、ファイルの内容が暗号化によって保護されているため、Umbrellaのマルウェア対策でスキャンできないファイルです。暗号化は任意のファイルに適用できます。たとえば、アーカイブ、Officeドキュメント、PDFなどです。

既存のグローバル設定に加え、Umbrella Secure Web Gateway(SWG)に「保護されたファイルバイパス」のWebポリシールール設定が追加されました。この設定では、ルールに一致する特定の

ユーザや宛先に対してバイパスを設定できるため、柔軟性が向上します。これは、すべてのユーザとすべての宛先にバイパスを設定するグローバル設定と比較されます。

新しいルール「Protected File Bypass」は、ルールの設定で確認できます。

The screenshot displays the Umbrella rule configuration interface. At the top, a rule is configured with the identity 'All AD Users' and the action 'Allow'. A modal dialog box titled 'Protected Files Bypass' is open, allowing the user to select how 'Allow Protected File Bypass' is configured for this rule. The dialog includes a toggle switch for 'Protected File Bypass' which is currently turned on. The dialog also provides instructions and a link to Umbrella's help page. The background interface shows a list of categories: 'Non Business Low Risk' (Allow), 'All Categories' (Allow), 'Non Business' (Block), and 'Security Category' (Isolate). The top right corner of the interface shows the schedule 'Any Day, Any Time' and a status message 'Allow Protected File is Enabled'.

10683332392340

詳細については、次のUmbrella SIGドキュメントページを参照してください。

- [グローバル設定の管理](#)
- [ルールセットへのルールの追加](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。